

福島県いわき市いわきNTの 仮設住宅の現況

暮らしサポート隊・仮設住宅コミュニティ支援班

平成23年10月11日

いわきNT仮設住宅の状況

2011.09.15時点

- 約7割程度入居(パオ広場便りの配布実績(700部)より)
- 県立公園内はペット専用
- 広野町は区域解除されたが、除染作業に時間がかかるようで、住民は様子見
- 子ども学校は仮設の位置ではなく、町単位でバラバラの小学校に。
- 空き教室で独立して授業を行う



仮設住民の声

2011.09.15時点

【広野町の住民】

- 狭いので、必要な荷物だけ持ってきている。服も季節ごとに入替
- 町に戻っている人もいるので、地元で気晴らしに「床屋」を再開
- 車で40分程度なので週に数回は戻っている。
- 同じ字の人がまとまって入居しているのでコミュニティは良好⇒自治会も設立予定
- 木造仮設住宅との質が極端すぎる

【檜葉町の住民(重度障がい者)】

- 「いわきに行け」と言われて避難してきた。具体的な場所の指示はなかった。
- バリアフリー対応と聞いているが、まったくバリアフリーではない(重度障がい者を想定していない)⇒フレキシブルな利用可能な空間を
- 社協に依頼したが、対応できないからいわき市で頼んでと言われた。

中央台暮らしサポートセンター

2011.09.19開所



中央台暮らしサポートセンター 2011.09.19開所



パオ広場スケジュール

- 9/19 オープニングイベント
胡弓の演奏, 新そばの試食会など 仮設住民60名参加
- 9/25 イスラム文化センター
パキスタンカレーの炊き出し 100名参加
- 10/23 いも煮会
- 11/5 パキスタンカレーと音楽イベント
- 11/19 NPO法人九州ラーメン党「とんこつラーメン祭り」(700食)

- * 日常はお茶サロンやマッサージが人気で来客者増加中
- * 相談会として、アルコール依存や東電の補償問題を行っていく予定.

パオ広場の配布 月に1回、戸ごとに手渡し配布を実施予定



中央台暮らしサポートセンターの体制変遷図

